

編 集 後 記

この双書は、昭和60年度から62年度にわたって、高校での社会科担当の先生方の協力を得てまとめたものであります。

地域資料の活用が必要であるとの主張が強い中で、地域資料の授業での活用は不十分で、まだ多くの検討の余地が残されています。一方では、県内外の膨大な資料の調査収集と、近時の歴史学の成果に基づいた県史編さん事業が昭和51年度よりすすめられ、資料編、通史編等合わせて38巻の新潟県史の完成が間近かに迫っている状況であるともうかがえます。こうした、県史をはじめ、各市町村での市町村史編さん事業の成果などを学校教育に生かされなければならない時期に来ているものと思います。

この双書に収載した地域資料の事例は、新潟県史編さん事業などで研究調査された最新の資料を中心に、原始期から現代に至るまでの各時代にわたって、それぞれ数項目ずつ収載したもので、ページ数の制約で事例数が不十分ではありますが、地域資料の活用表とあわせて、授業実践をすすめるための手がかりの一つとして御活用いただきたいものと思います。

なお、本書は次の8人が分担して執筆しました。執筆者の1人である中野豈任氏が本書の完成を前にして、昭和63年2月に逝去されました。心から哀悼の意を表し御冥福を祈ります。(中村)

執 筆 者

氏 名 (所 属)	分 担 部 分
木 村 宗 文 (新潟県立新潟中央高等学校教諭)	地域資料活用表 (1) (2) 地域教材事例 (1) (2) (3) (4) (5)
花ヶ前 盛 明 (新潟県立直江津高等学校教諭)	地域資料活用表 (3) 地域教材事例 (6) (7) (8) (9)
中 野 豈 任 (新潟県立中条高等学校教諭)	地域資料活用表 (3)
本 間 則 久 (新潟県立燕高等学校教諭)	地域教材事例 (10)
金 田 文 男 (新潟市立明鏡高等学校教諭)	地域教材事例 (17) (18)
本 田 雄 二 (新潟県立寺泊高等学校教諭)	地域教材事例 (16)
荻 野 正 博 (新潟県立新発田高等学校教諭)	地域資料活用表 (5) (6) 地域教材事例 (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27)
中 村 義 隆 (新潟県立教育センター教科教育課長)	「社会科の授業改善」活用表 (4) 地域教材事例 (11) (12) (13) (14) (15)